

子どもが住みよい地域にしたい！



「こずっち会議」

@風早南部

発行) 柏市役所 地域づくり推進部 地域支援課 問合せ: 04-7167-1126 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

■日時 令和元年11月30日(土)午前10時から12時

■場所 高柳近隣センター 多目的ホール



意見交換

A~Dの四つのテーブルに分かれて、意見交換をしました。



リラックスしながら

飲み物やお菓子も用意されて、和やかに話し合いました。



意見の見える化

模造紙に参加者の意見を貼ることで、意見を見える化しました。



発表

最後に、四つのグループから、話し合いの内容を報告して頂きました。

これから、私たちの住むまちを良くしていくには、「みんなが顔見知りになることからが第一歩じゃない？」と思い、そのきっかけづくりとして、ふるさと協議会と子育て世代の方々に「子どもが住みよい地域にするには」というテーマで意見交換をしました！当日はたくさんの笑顔でたくさんのおしゃべりをして、お互いがどんな考えを持っているのかを知ることができました！
くわしくは裏面をご覧ください！



「こずっち」とは、「子(どもが)住(みよい)地(域)」の愛称です。

テーマ

子どもが住みよい地域にするには

@風早南部

■出席者

- 風早南部地域ふるさと協議会 9名
- 風早南部地域に住む若い世代 11名



こすっちニュースレター

ふるさと協議会とは

町会等は、わたしたちの生活に最も身近な活動団体です。柏市独自の「ふるさと協議会」は、町会等の枠を超えた地域コミュニティづくりの中心的な担い手として期待されています。



いまやっていること



- ・ものづくり体験はすごく子供たちに人気。もっとあったらいい。もちつき、豚汁作りもやってくれている。
- ・ニュー・スポーツのイベントが多く多世代交流できる。
- ・昔に比べて「フェス」が増えてきた。
- ・ドックランで自然な出会いが生まれる。
- ・高柳まつりにはふるさとを感じる。他地域の人も楽しみにしている。
- ・地域活動をしてみると楽しい。



これからやれたらいいなと思うこと

- ・とっかかりは、文化祭など学校を通じてがいい。そこから好きなことを見つけて習い始めるという形がいいと思う。
- ・子どもが住みよい地域にするためには、子どもたちで話合ってもらうのがイチバン！
- ・ものづくり（押し花、小物）を子どもに体験してもらおう。今の子どものセンスを知れて面白い。
- ・地域と学校の連携。
- ・中国では公園で多世代が様々な「交流」「遊び」をしている。
- ・「ここで遊べるようになったらいいのに」と思う空地が多い。
- ・興味がある人をつかまえることが大事。そのためにもQRコードを毎回つけることが重要。
- ・自分の子どもの時の楽しいイメージがあり自分の子どもにもワクワクさせたい。
- ・川沿いの環境は子どもの宝。
- ・ママ友をつなげる仕掛けづくり。
- ・高額な商品を賞品にするより、かき氷50円引券でも充分楽しいと思う。
- ・多世代交流で、ベーゴマ、メンコなど教えてもらえるのはいい。母親世代もわからない。



参加して感じたこと

【熟年世代】

- ・若い人が素晴らしく、感心しました。
- ・参加の仕方がわからないとの意見があり、窓口の検討が必要と感じた。

・若い世代の方が、参加できる雰囲気作りが必要。

【若い世代】

・普段お会いできない方々と地域のお話をするとはとても新鮮で楽しい時間でした。



- ・ずっと気になっていたことをお話できた。
- ・こういう会議の開催を考えて下さっている方々がいることに驚いている。同世代の方も多くいた。身内以外で子どものことを考えて下さることに感動した。

そのほかの地域で行なわれた
こすっち会議はこちらから→

